

戸塚区品濃町最終処分場 廃棄物崩落、飛散防止対策について

①改善工事実施前

- 埋立廃棄物が、40度を越える急勾配で積上げられている箇所があり、覆土等が行われていないため、雨水により侵食されて崩落する危険がある。
- 埋立廃棄物の変位状況を観察した結果、自主管理基準（5日当り10mmの変化）を超える急激な変化増加は見られない。

②積上げ廃棄物の崩落による危険性

- 埋立廃棄物の急傾斜箇所が、崩落した場合、公道利用者及び隣地利用者へ被害を生じさせる恐れがある。また、廃棄物層に滞留する、メタン、硫化水素等のガス及び悪臭物質が拡散し、周辺の生活者全般に被害を生じさせる恐れがある。

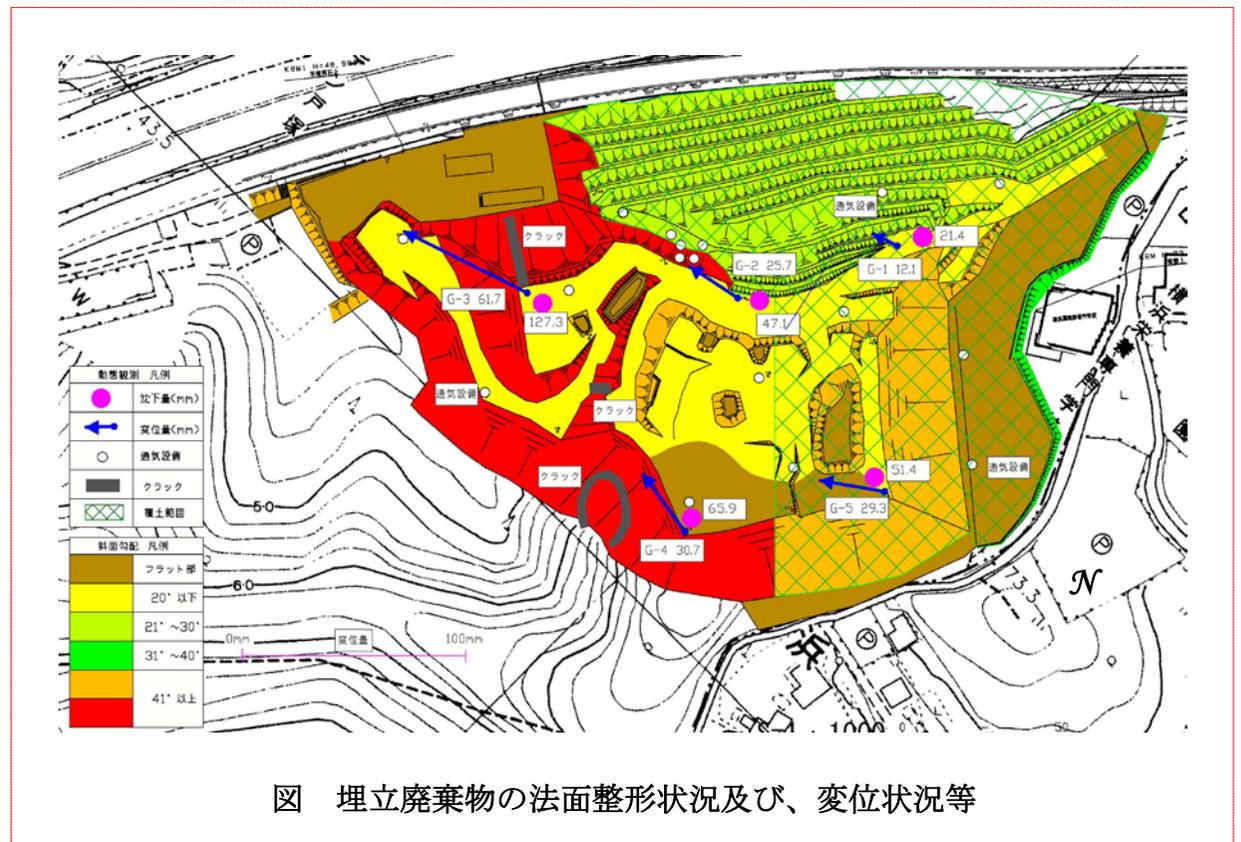
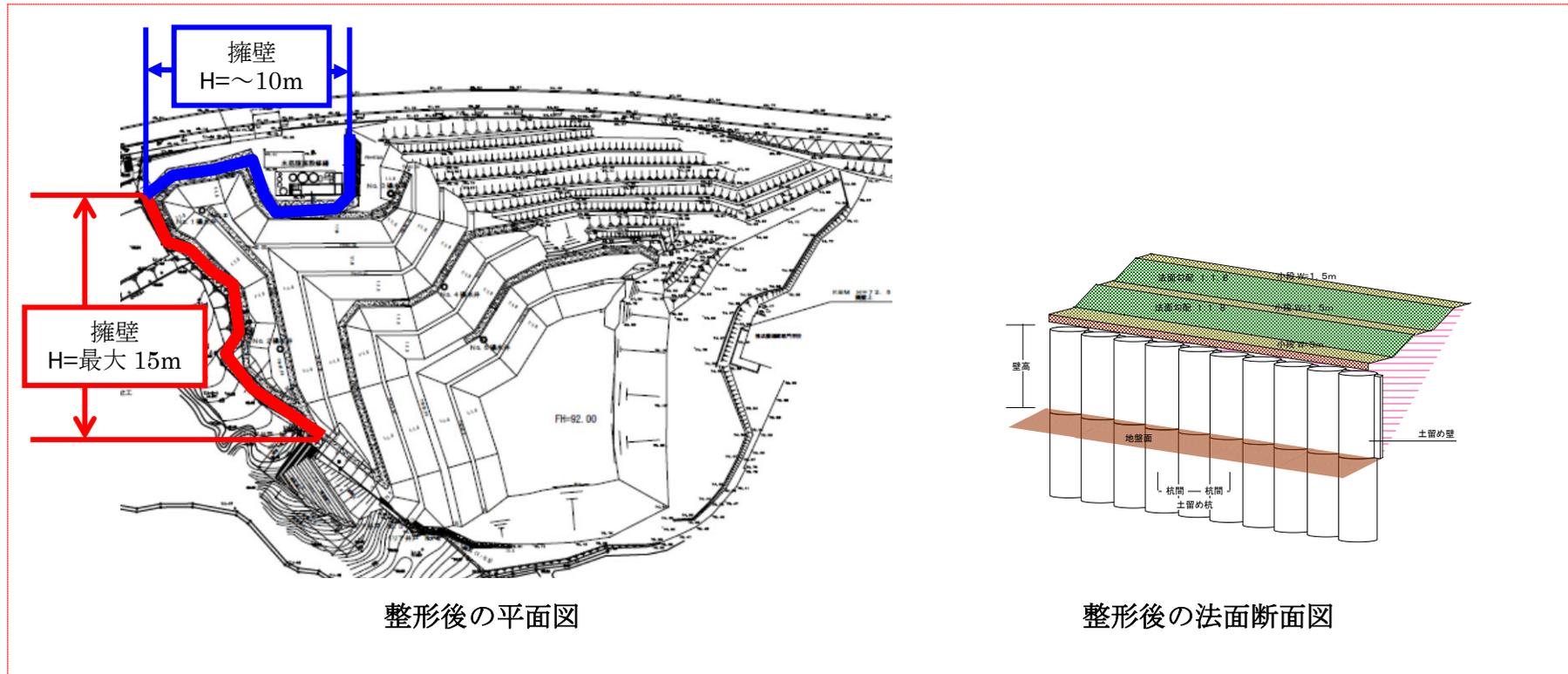


図 埋立廃棄物の法面整形状況及び、変位状況等

③改善工事

- 急傾斜部分を安定勾配（1：1.8）に整形して、廃棄物の崩落を防止し、安定化を図る。
- 擁壁等を廃棄物法面のすそに設置し、廃棄物の整形を行うとともに、覆土を行い、廃棄物の流出を防止する。



※ 廃棄物層の掘削及び移動の際に、有害ガスや悪臭物質等が拡散しないよう、掘削量を極力減少するなどの対策を行いました。